

「見守り活動情報交換会」を開催！

日時 令和7年2月16日（日）

会場 健康の森 さくら
（健康医療介護総合支援センター）



4回目の開催となる「見守り活動情報交換会」を令和7年2月16日（日）に健康の森さくらにおいて開催しました。

この見守り情報交換会は、自治会を単位とした日常的な見守りの推進に取り組む南部地区社協が、見守り活動のノウハウや活動成果の共有を目的に実施しているもので、今回は13自治会から52名の方々にご参加いただきました。



NPO法人三松会理事長 塚田一晃さん

自治会からの活動報告では、神明町自治会の山野井自治会長と緑町自治会の寺本自治会長から、地域の現状にあわせた活動や、既存の事業をいかした見守り活動の取り組みをご報告いただきました。

続いて行われた講演会では、曹洞宗源清寺（群馬県館林市）住職で、NPO法人三松会の塚田一晃理事長を講師に迎え、「地縁（地域のつながり）の必要性」と題した講演を行い、身寄りのない人のために福祉専門の葬儀会社を立ち上げ、孤独死予防センターやフードバンク事業などへと活動の幅を広げていく中で、時代は変わっても人は心の拠り所を求めていることや、心の底から「ありがとう」と伝えることの大切さをお話いただきました。

— 事例発表 —

■ 神明町自治会 ■

「自治会を取り巻く現状は厳しく、地縁の弱体化が起きている。しかしながら、見守りの基盤は地縁（つながり）であり、そのために、自治会加入者のつなぎとめ、既存事業を活かした安否確認、地域有志による活動へのバックアップを予定しています。」



神明町自治会長 山野井孝さん

■ 緑町自治会 ■

「隣近所で、お互いが気にかかけ合う関係性を構築することが結果的に“ながら”見守りにつながっている。まずは地域でつながることが大切で、そのためにも、核となる自治会の加入率や活動への参加率が上がるような働きかけに取り組んでいます。」



緑町自治会長 寺本孝雄さん

小山南部地区社協では、日常生活の中で、近隣住民ならではの「気づき」をいかした“ながら見守り”活動を住民同士の支え合いとして進めています。



南部社協視察研修会

令和6年9月19日(木)に会員代表者を対象とした視察研修会が開催されました。行先は、成田方面、航空科学博物館を見学し、飛行機の歴史を学びました。

また、移動中の車内では、各地区で取り組んでいる見守り活動や日頃の地域活動についての情報交換を行いました。

今回は、19名の参加でしたが、今後の地区社協活動を進める上で、大変有意義な研修となりました。



“友愛訪問”を実施



小山南部地区社協の民生委員が担当地区内の75歳以上で一人暮らし、夫婦二人暮らしの方を対象に友愛訪問を実施しました。合計610世帯にサランラップとジップロックのセットをお配りし、健康状態の把握をしながら日常生活の困り事相談を受けました。高齢になると外出や人と話すことも少なくなり不安を感じるが多くなります。誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりのために「南部流見守り活動」への皆様のご協力をお願いします。

令和7年度 小山南部地区社会福祉協議会定期総会



令和7年度小山南部地区社会福祉協議会定期総会が4月26日(土)外城公民館にて、小山市社会福祉協会の田熊事務局長・大加戸係長のご臨席を頂き、盛大に開催されました。

質疑の中で自治会長より、今後の地域活動の活性化効率化を目的とした、自治会長と民生委員児童委員との情報交換会を実施してはどうか等の意見が出され、全体としては大変有意義な総会になりました。

参考に今年(令和7年)度事業計画を下表に示します。

令和7年度事業計画	
年月	事業名
9月	視察研修会
10月~11月	友愛訪問の実施
R8.1月	会員代表者による交歓会
2月	見守り活動情報交換会

なお、今年度は役員改選年ではありませんが、監事の欠員により2名の新たな監事が補充されました。

武井 文子 様 (通宿民生委員)

岡本 好博 様 (南城南自治会長)

※監事以外の役員は留年となります。